

# 釜山外国語大学校日本語教育実習

プログラム区分	海外実習
主幹部署・問合せ先	国際日本学科
研修先国・都市名	韓国・釜山広域市
研修先	釜山外国語大学校
プログラム概要	<p>本学の国際日本学科3, 4年生、大学院生、他学科生（19生以降のみ・定員に余裕がある場合に限る）を対象に、韓国の釜山外国語大学で行う日本語教育実習プログラムである。</p> <p>2週間の実習期間中は、釜山外国語大学の教員の指導を受けながら、授業見学、教案作成、教壇実習を行う。教壇実習では、韓国の大学で日本語を学んでいる学生に直接日本語を教えることができるため、将来、海外で日本語を教える日本語教師を目指す学生にとって、大変貴重な機会となる。</p> <p>実習期間中、実習生はホテルに宿泊する。また、釜山外国語大学で日本語を専攻している学生がチューターとして、お世話してくれるため、意思疎通に関する心配はないが、渡航前には、韓国語の事前指導で基本的な韓国語を身につける。なお、チューターとの交流は、同世代の人々を通して韓国の社会、文化に触れる貴重な機会となる。</p>
日程	出発予定時期：2025年9月上旬 帰国予定時期：2025年9月中旬 期間：2週間
単位認定	合計2単位 「日本語教育実習C（海外）」1単位 「日本語教育実習指導C」1単位
他学科生の受入れ	可 受入れ可の他学科：全学科（指定されている単位を修得済みの学生に限る）
語学研修の有無	無
引率者の有無	有
住形態	ホテル
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・上記内容は変更する場合がある。本実習の詳細は、募集説明会の際に確認すること。</li><li>・実習参加前までに履修しなければならない科目がある。詳細は、学科事務室に問い合わせること。</li><li>・韓国渡航前に15コマの集中講義「日本語教育実習指導C」を行う。この授業にすべて出席し、事前課題の提出が完了していることが教育実習参加の条件である。</li></ul>

# 体験記

## 釜山外国語大学校日本語教育実習に参加して

氏名：内田 花野 （2024 年度参加）

夏季休暇中の 8 月 31 日から 9 月 14 日までの 2 週間、釜山外国語大学での日本語教育実習は長いようで短いものでした。日本を離れて海外で 2 週間過ごすことも自分で教案を考えて学生の前で授業をすることも初めての事で不安に思う一方、韓国での生活や日本語教育の現場に関わることができること等に期待で胸が一杯でした。日本語教育プログラムを履修していても実際に授業をしてみないと分からなかったことが多くありこの 2 週間を通してたくさんの学びを得、自分の成長につなげることができました。

私が担当したクラスの学生たちはおとなしくてまじめな方が多く、指名すれば考えた答えを発言してくれました。この場面からは教師側の促し方によって学生の授業参加度が変わってくるということに気付くことができました。「質問があれば言ってください」ではなく「当てるので質問を考えておいてください」と言葉選びを工夫する事や、クラスに日本語レベルの高い学生とそうではない学生がいる場合ペアを組んで前者が後者に教えるようにすると良いこと、文法や語彙の指摘をし過ぎると学習者の意欲を低下させる可能性があることなどを学ぶことができました。また、B1-2 程のレベルになると文法的な説明も授業内で説明するというので実際に取り入れてみました。こういった文法事項の説明をするかメモをして準備していたのですが私自身、文法が苦手なことと緊張が相まってうまくまとめることができず悔しい思いをしました。私は教師側が日本語についてしっかりと理解していることは非常に重要だと考えており、そのために自分が今後強化していくべき点を分析することができたと感じています。

釜山外国語大学での日本語教育実習は私にとっても大きな影響を与えました。ここで学んだことを忘れず、今後生きていく中で役立たせていきたいです。実習に参加してよかったと心から思っています。